



大好き！わらべうたあそび



宮城わらべうたの会の小原紀子先生による、わらべうたあそびがありました。

2歳児…初めに、返事あそびをしました。名前を呼ばれて返事をする事で人との良い関係が生まれ、人に好かれて生きやすい子に育つとの事です。緊張しつつも「はい！」と返事をする子どもたち一人ひとりに「すごいね」「めんこいね」と沢山の温かい言葉を頂きました。そして、ふんどしを巻いたキューピー人形が「のこった！のこった！」と相撲をとる“ちびすけどっこい”というわらべうたに、子ども達はとても魅了されていました。小さなキューピーが大きなキューピーを投げ飛ばしたり、小原先生が「ごっつぁんです！」とおなかをポンと叩くのを見て大笑いしていました。**5歳児**…“あめこんこん”というあそびをしました。かごめかごめの様に目隠しをした子が鬼になって真ん中に座り、その周りを手を繋いだ子ども達がぐるぐると歩くのですが、このあそびでは後ろの正面になった子が例えば「かあかあ」のように鳥の鳴き声を出して、その声が誰かを当てるのです。何人かの子が順番に鬼をしましたが、どの子も見事に言い当てて、改めて子ども達の結びつきの深さが窺えました。

わらべうたは歌とあそびがセットになっていて、子ども達の生活の中に子ども達の楽しみとして伝えられてきたものだそうです。また、人として生きるためのメッセージも込められているとのことです。これからも、保育の中に取り入れて楽しんでいきたいと思います。

今年も、夏まつりがやってきます！！



今年も夏まつりを開催します。去年は久しぶりの親子参加で、園内がとても賑わいました。

今年のテーマは“絵本の世界”です。子ども達から出てくる沢山のアイデアを取り入れながら、ひまわり組は4つの絵本をもとにおみこしを、さくら組は3つの絵本をもとに山車を、ちゅうりっぷ組はうちわを製作中です。さくら組で“にじいろのさかな”をテーマに製作をした時のこと。みんなで大きな模造紙に水色の絵具を塗って海を作っていましたが、最初は小さかった筆の動きがだんだんダイナミックになり、最後にはまるでボディペインティングをしたかのように手足までが絵の具まみれになってしまいました。普段は中々ない大胆な活動に、子ども達のワクワクは最高潮だったようです。みんなで作り上げた海には、一人ひとりの手形で作った可愛い‘にじいろのさかな’が泳いでいます。山車の完成まであと一息です！

また、すずめ踊りの練習にも励んでいます。ちゅうりっぷ組にとっては初めてのすずめ踊り。みんな可愛いすずめになり、右に左にジャンプしています。さくら・ひまわり組の子ども達もとても気合が入っていて、音楽が流れだすと表情をピッと引き締め真剣に練習に取り組んでいます。立膝をしての“かまえ”のポーズもばっちりきまるようになり、先輩すずめぶりを発揮していますよ。本番までの製作活動や練習も、楽しんで行っている子ども達…今から当日が楽しみです。

0, 1, 2歳児の子ども達は、お兄さんお姉さん達が練習する姿を応援しています。友だちと一緒に「わっしょい！わっしょい！」と口ずさむ子もいて、何年か先の姿を見るようで頼もしく感じられます。

ゲームコーナーやくじ引きなどのお店も、親子で楽しめるものを企画しています。

良い天気にも恵まれますように…



かしわぎ農園 続報！

先月号でもお伝えした以上児クラスの畑ですが、ひまわり組が植えた枝豆の双葉が鳥たちにつつかれ、見るも無残な状態になってしまいました。意気消沈の子ども達と担任…リベンジするぞ！ということで3回目の種植を行いました。今回は網のかけ方も工夫し、何とか収穫して、みんなで食べるぞ！と息巻くひまわり組です。鳥たちもおいしい物を知っているのですね。

枝豆の他にも沢山の野菜が生長中です。はやくも何種類かの野菜がなっていて、子ども達も驚いていました。



今後も柏木農園から目が離せません！